

盛岡市の未来

～市民とつくる 持続可能なまち～

2024年2月17日

株式会社 日本政策投資銀行 地域調査部 特任顧問

株式会社 日本総合研究所 主席研究員

みきわめ ・ みとおす
事実発見&構造把握業

もたに
藻谷浩介 kosuke@motani.com



人口28万人の盛岡市。 もし独立国だったら、世界では？

× 小さすぎて国にはなれない

× 世界196ヶ国の中でブービー

③ もっと小さい国は20以上ある

岩手県より小さい国なら、40もありますよ。

それでもどの国も、国連に議席があり、国際問題に関しては自分の意見を表明します。

ガラパゴス日本の国際競争

バブル最盛期の90年と、昨年(22年)を比べると日本の輸出額(兆円)は?

@財務省 国際収支状況

ヒント:

- ① 輸出は「(株)日本の売上」のようなものです
- ② 輸出は日本で生産され、税関を通過して海外に売られた商品の額で、99%が(ハイテク)工業製品です
- ③ 海外移転した工場の売上は、輸出に入らなくなります

× 半減以下

× 同水準

③ 倍増以上

日本の精神は2.5倍

日本人の9割以上は、
不安を強く感じ、未来を悲観
する傾向を、遺伝的に持つという。

→ 私も、あなたも、とにかく日本人は...

- ① 否定的な気分で話しがち
- ② うまくいっても成果を否定しがち
- ③ たまに反動で、過度の楽観に走る

等身大の事実に興味がなく、
「8割卑屈、2割傲慢」で
ブレ続ける。

120

1360

120

40

120

20

80

0

0

1985

1990

1995

2000

2005

2010

2015

2017

2018

2019

2020

2021

2022

500年後の日本

500年後の盛岡市に

確実に残っている

人のつくったもの

人工物は何でしょう？

**500年後の世界には
建物も、橋も新幹線も
5～10回は造り替え
られたもののしか
残っていません。**

500年後に残っているのは、

まずは500年経たないのです。

その
道
学

昭和どころか、
もう平成も終わっている。
世の中はすっかり変わった。
でも頭の中は昭和のまま。
大谷翔平が出ている時代に
まだ自分は長嶋茂雄が一番…

「高層ビル好き」は昭和の妄想。

「世の常識」も昭和の惰性。ません。

令和の現実を学べ。

あなたは学べますか？

ガラパゴス日本の国際競争②

日本が経常収支赤字の相手は？

—昨年(2022年) ©財務省国際収支状況

- ① 対 米国
- ② 対 中国 (+ 香港)
- ③ 対 韓国
- ④ 対 台湾
- ⑤ 対 ドイツ
- ⑥ 対 イタリア
- ⑦ 対 スイス

ちなみに、化石燃料産出国
に対しては大赤字

対中東 Δ 14兆円

対豪州 Δ 7兆円

対インドネシア+マレーシア+
ベトナムで Δ 4兆円

ガラパゴス日本の国際競争②

日本が経常収支赤字の相手は？

—昨年(2022年) ©財務省国際収支状況

お得意様第1号
日本の黒字は
17兆円/年

米国

お得意様第5号
日本の黒字は
3.2兆円/年

中国(+香港)

➡黒字相手2位はシンガポール
3位はオランダ
4位は英国

お得意様第6号
日本の黒字は
2.8兆円/年

韓国

22年の日本の輸出は99兆円と史上最高
→工業国には、機械・ハイテク部品・高機能
素材(=BtoB製品)を売って、大黒字

お得意様第7号
日本の黒字は
2.3兆円/年

台湾

➡黒字相手8位はケイマン諸島
9位はインド

お得意様第10号
日本の黒字は
1.4兆円/年

ドイツ

日本が
常に
赤字

対 イタリア

ブランド衣料品・工芸品・食加工品
➡ パスタとオリーブオイル

日本が
常に
赤字

対 スイス

薬品と手作り時計
➡ 最低月給が40万円以上

ガラパゴス国際競争②

日本は、相手は？

日本は、中韓台からも
米英独からも儲け続けている。

そんな日本が貢ぐ相手の
スイスとイタリアの特長は???

- ① 観光立国、手作りブランド立国
- ② 高い人件費、短い労働時間
- ③ 大都市がなく、農山漁村に
経済力、競争力がある
- ④ 地元意識がとても強く
食べ物は地産地消

対
対

スイス

総人口8百万人

16千万人

お得意様第
日本の黒
17兆円

お得意
日本の
3.2兆

お得意
日本の
2.8兆

お得意
日本の
2.3兆

お得意様第
日本の黒
1.4兆円

国際収支状況

ポ
ン
ダ
英
国

最
高
機
能
大
黒
字

諸
島
印
ド

日本が
常に
赤字
日本が
常に
赤字

40万円以上

仕事がない(失業率が高い)

年国勢調査

地元民は言います。
「地元には仕事がない」と。

でも、盛岡市の失業率は、仙台より
低く、東京ともそんなに違いません。

そもそも失業率3%＝「完全雇用」で
それ以下は深刻な人手不足です。
人手不足が深刻なのはむしろ過疎地。

⑥ では、「仕事がない」とは %
どういうこと?

⑦ 下北半島 1.3%

働いている人の所得は
どれくらいあるのか？

対象所得額

昭和どころか、
もう平成も終わっている。
世の中はすっかり変わった。
でも頭の中は昭和のまま。
大谷翔平が出ている時代に
まだ自分は長嶋茂雄が一番...

「田舎は貧乏」は昭和の妄想。
「若者上京」は昭和の惰性。
令和の現実を学べ。

⑥

⑦

下北半島の所得

10万円

0

3

61

51

でも都会は若者が減っているし、
田舎は若者が減っていないし、

勘違いしてませんか、
「都会は若者が減っている」と。

44歳

ところが実際には東京都でも仙台市でも、
若者は減っています。人口増の滝沢も若者減。
若者はどんどん流れ込んでいるのに、なぜ？

それは「地元生まれ」が減っているから。
都会は田舎に比べて、とても出生率が低く、
新たに15歳を超える地元生まれの子が
45歳を超える人の半分もいません。

田舎の若者が消えた先には
都会の若者も消えます。

⑤

⑥

⑦

津波被災地

下北半島の佐和田町

%

△28%

%

△14%

でも田舎は一刻で、消滅 に向か

2018年

勘違いしてませんか、
「田舎は高齢者が増加中」と。

ところが数えてみると、過疎地ではもう
75歳以上の人の数は減り始めています。
反対に都会では75歳以上がまだ急増中。

都会では、田舎から集まり続けた若者が
続々75歳を越え、医療や介護がピンチ。
しかも支える側の若者は減っています。

田舎ではもう、年寄りの成り手
が足りず、医療介護の予算
が減って行きます。

の率

④

⑤

⑥

⑦

津波被害

下北半島の

佐

%

1%

0.2%

△11%

でも田舎は減り過ぎて

2018年

乳幼児の増減

歳の率

勘違いしてませんか、
「生き残るのは都会だ」と。

地価や家賃が高すぎる都会では
どうしても子どもの数が増えません。
都会に若者を集め続ければ、日本は消滅。

しかも都会では、田舎から集めたかつての若者が
続々75歳を越え、医療や介護がピンチ。
子育てに向ける余裕も乏しいのです。

高年齢者が先に減り始める田舎で
乳幼児が増えていく場所が
消えずに残ります。

④

⑤

⑥

⑦

津波被害

下北半島の佐

に子育て中

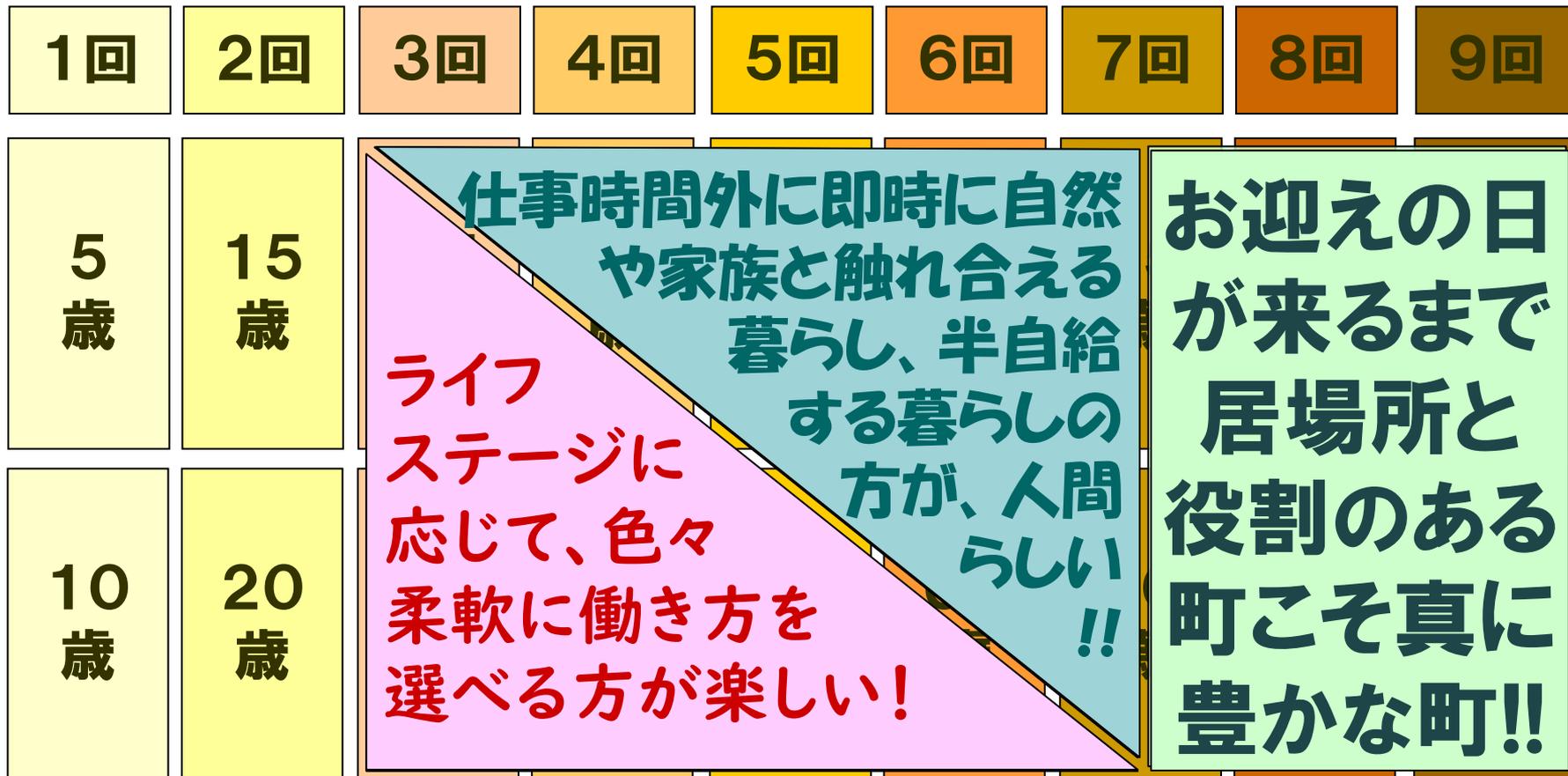
%

1%

+4%

+7%

超高齢化社会の幸せとは？



進路指導の
教師も、親も、
ここまでしか
考えていない

若く体力
のあるうちに
子育てすべき
だったが、仕事
で残業ばかり

持ち家と
お受験教育
“2つの無用”
に無駄金を払う

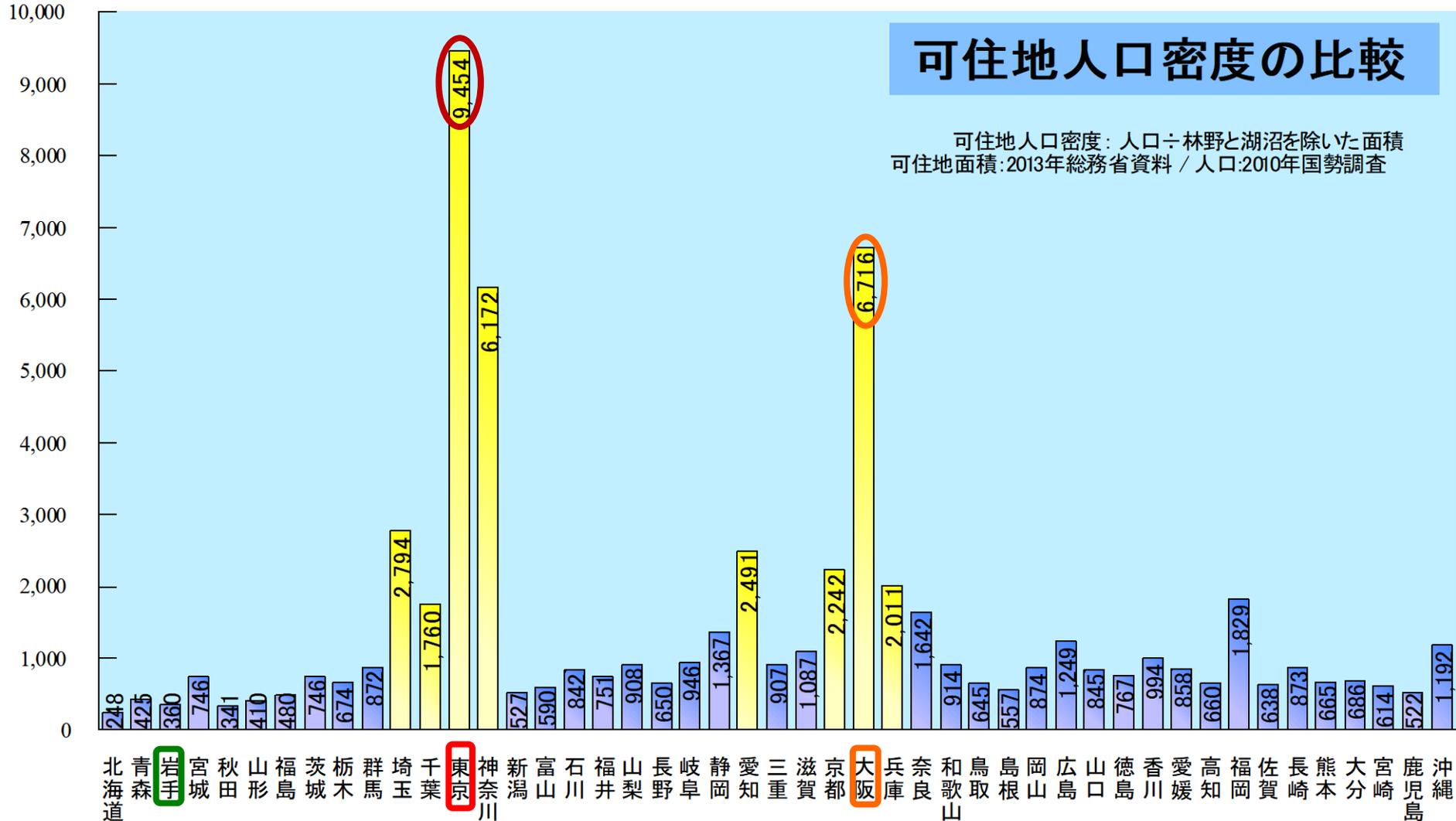
退職後
には
収入も
やること
もない

田舎暮らし
のの方が
仕事も収入
もある!

延長戦に
入る備えは
あるか?

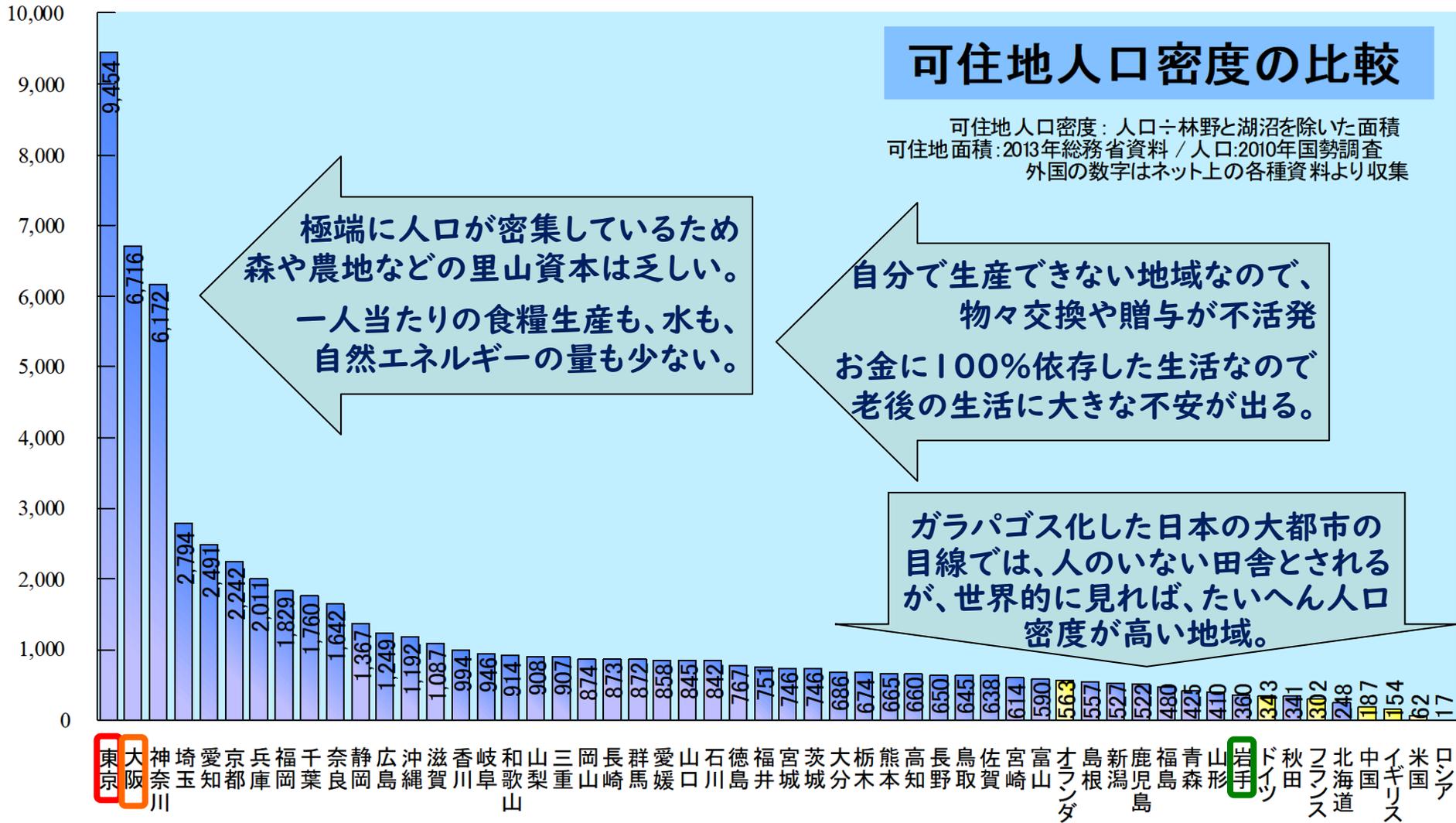
大都市圏に比べると とにかく人が少ない田舎...？

人／平方キロ



日本の大都市圏は 世界的に見れば 異常なレベルの人口“過密”地

人／平方キロ



可住地人口密度の比較

可住地人口密度：人口÷林野と湖沼を除いた面積
 可住地面積：2013年総務省資料 / 人口：2010年国勢調査
 外国の数字はネット上の各種資料より収集

極端に人口が密集しているため
 森や農地などの里山資本は乏しい。
 一人当たりの食糧生産も、水も、
 自然エネルギーの量も少ない。

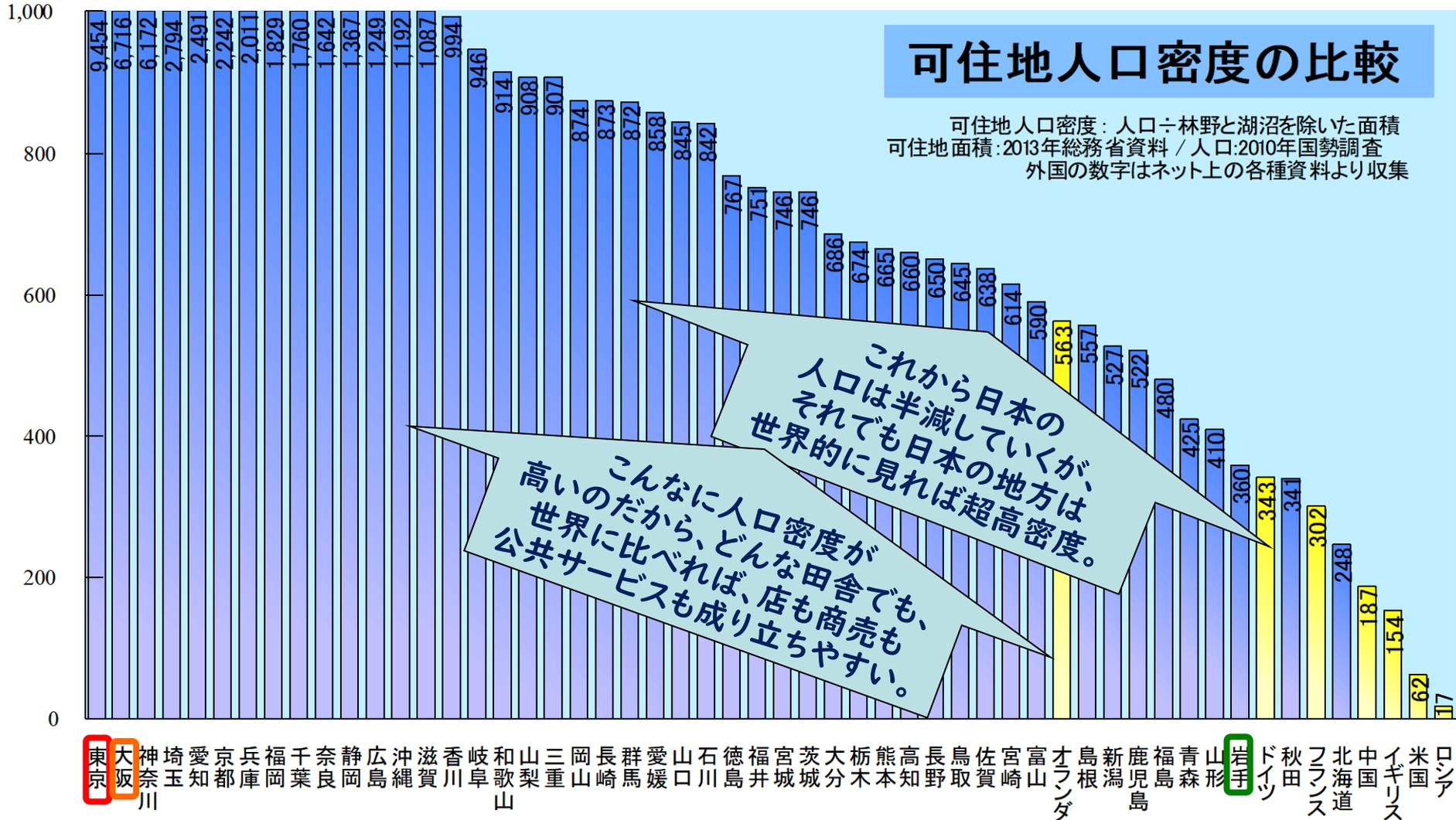
自分で生産できない地域なので、
 物々交換や贈与が不活発
 お金に100%依存した生活なので
 老後の生活に大きな不安が出る。

ガラパゴス化した日本の大都市の
 目線では、人のいない田舎とされる
 が、世界的に見れば、たいへん人口
 密度が高い地域。

“過疎”は自然資本の豊かな“適疎”

日本の地方の県は、人口“適密”地帯

人／平方キロ



エネルギー源でみた人類史五段階

① 狩猟採集時代 [石器時代～]

② 農耕時代 [弥生時代～]

- ← 太陽光を穀物に変え貯蔵するという技術革新で人口急増
- 貯蔵した穀物や農地を巡って戦争が起きるようになった

③ 工業時代-化石燃料前期 [戦後～]

- ← 化石燃料=太古の太陽光の濃縮物 で肉体労働を代替
- 人口が激増、しかし化石燃料は無尽蔵で、戦争は無用に
- 農耕従事者が激減、都会で書類を書く無産階級が激増

④ IT時代-化石燃料後期 [21世紀～]

- ← 頭脳労働もIT化され、生産に要する労働力が激減へ
- ← 地球環境の制約が明確になり、成長より継続が課題に

⑤ 里山資本主義時代-分散/小規模/連携の時代 [令和～]

- ← 再エネを小規模利用する技術が深化 / CO2排出は限界
- 都会を出て、田舎で“部分自給”する生活が有利に

“バックキャストイング”で考える

- ① 自分が「こうしたい」と強く考える
「未来の出来事」、「こうあって欲しい」と願う未来の社会を、心に描く
- ② 手持ちの手段や、現実的なステップから、順を踏んで考えることはしない
- ③ そこで思い描いた未来から逆に振り返って、そこに行くため何をするか、何をしないか、を決めていく
- ④ 新たな事態が起きた場合も、未来から振り返って、今の対応を決める

“バックホウ”の実例

①

盛岡で満ち足りて暮らし、
好きな時に都会や世界で遊ぶ、
豊かな未来は、誰でも手にできる。

②

生活費の高い都会か、退屈な田舎か、
二者択一を迫られるのはおかしい。
日々ワクワクできる盛岡を自分で作ろう。

Iターン人材の活躍の場を増やし、
若者を戻し、高齢者を移住させよう。

④

元気な若者と女性に走らせ
陰から助けよう！

番外(藻谷)

仕事をする
立場になる
③ 間違った選択をする組織や社会を減らす